

■ロシア：ロシアの石油生産量、2013年までに4億5,000万トンに減産の見通し

シマトコ・エネルギー相は、2009年2月12日に行われた石油部門の発展を議論する協議会において、ロシアの石油生産の中期見通しを発表した。この見通しは、石油会社の生産見通しをもとに作成されたもので、エネルギー相は、ロシアの石油部門の停滞に伴う投資資金の不足により、石油生産量は2013年までに4億5,000万トンになるとの見通しを示した。同相は、石油部門における投資資金の不足は、2009年に2,000億ルーブル（≒5,100億円）、2010年には6,000億ルーブルに達する可能性があり、石油会社に対する税負担を現状レベルに維持すると大幅な減産が予想されるとしている。また、今後、財務上の負担によって、操業中の油田の36%、新規油田の93%で採算が取れなくなるとしている。なお、2008年の生産量は4億8,800トンであった。